

# 実践的ドローン教室展開

【大阪】ドローン（小型無人機）スクールを展開するSRSC Connect（野田有美社長、大阪市中心区）は、基本的な操縦技術にとどまらない実践的なスクール事業を行っている。また、野田社長の経験から社会貢献事業に注力し、子ども向けボランティアや体験教室を展開。ドローンを通じ、人々をつなぐ（コネクト）ことのできる企業として成長を図る。

（黒須晃）

2021年に立ち上げ、学べるコースを開設した。現在は大阪府大東市にドローン専用の屋外フィールドを設置。座学と実技による2日間の基本操縦に関する講習のほか、受講者に安全を重視した操縦技術を身に付けてもらうため、建物の点検や空撮に関する技術を

学べるコースを開設した。国土交通省の「移動式講習団体」の認可を受けているため、場所を確保できれば、全国どこでも出張式のドローン講習を行える。今後は物資の輸送に関するコース設置を検討しており、様々な場面で活躍できる人

SRSCo n n e c t

## 物資輸送、来年実証 人と人つなぐ企業に



材の育成へ力を注ぐ。  
24年に関連団体と協力し

て、山間部でドローンを活用した物資輸送の実証実験を予定。23年7月には大東市と災害時の支援活動に関する協定を締結した。ドローンの商用利用への需要が増える中、いざという時に役立つ人材育成へ余念がない。

また、野田社長が子どもの頃に入退院を繰り返した経験から、病院や児童養護施設の子ども向けのボランティア事業を展開。慰問活動やドローンの体験教室を行っている。野田氏は「病気を抱える子どもたちは自己肯定感が低い場合が多い。子どもたちが技術を身に

物資輸送に関するコース設置を検討

付けたり、関心を持ったりしてもらえようという活動が続いている。いざという時、誰かのために動けるよう、ドローンをきっかけにしてほしい」と語る。

将来的には、子ども向けに資格を付与できるように準備を進める。ドローンは

### 倉庫敷地で来月お祭り

#### ジェイカスフードロス啓発も

【兵庫】ジェイカス（加納ター（神戸市東灘区）で賀澤一社長、兵庫県西宮市）は11月5日に、新型コロナウイルス感染症拡大のため休止していたRICフアーマーズフェスタを開催する。

休日に稼働していない倉庫敷地の有効活用をコンセプトに、同社の神戸物流センター（神戸市東灘区）で実施。食べ物の屋台や地域の特産品販売などのブースが多数出店するほか、ジャズやアイドルのライブも行われる本格的な祭りでも、地域の住民と倉庫内で交流することでも物流事業者のイメージ改善も目指す。

また、倉庫業者ならではの

災害時の有効活用が期待されている。そうした状況で、子どもたちがドローンを操縦して活躍できる力を付けてもらうのが理想だという。今後も移動式講習団体としてドローンの普及に努めつつ、ボランティア事業を並行して行っていく。

子どもが会場全体を使っ  
君や兵庫県のはばタン、三  
た。トラクタへの乗車体験  
助手席に乗り、高い眺めに